



全4回シリーズ 鴻巣御殿御参行列開催記念

鴻巣中かりの歴史人

『8傑1姫』

紀行

= 第3回 =

～笠原直使主・源経基・渡辺綱の巻～



歴史人⑤ 笠原直使主

古墳時代に武蔵国の※1国造であった人物が笠原直使主です。『日本書紀』によると、安閑天皇元年(534年)、「笠原直使主と同族の小杵が争ったが、朝廷の裁断により笠原直使主が国造と認められ、小杵は※2誅伐された。この※3朝恩に報いるため、笠原直使主は横渟(比企郡)・橘花(神奈川県)・多氷(東京都)・倉櫛(神奈川県)の四か所を※4屯倉として献上した。」と書かれています。この争乱が「武蔵国造の乱」で、生出家神社(天神1丁目)内の記念碑にその云われが記されています。※5「直」はヤマト王権から与えられた姓です。また、「笠原」の呼び名は、鴻巣市笠原から行田市埼玉のあたりを指すと考えられ、その時代に築かれた「さきたま古墳群(行田市)」には多くの遺跡が存在します。この時代、「生出家遺跡」に見られる東日本最大級の埴輪工房の存在などにより、鴻巣も古くから栄えていたことは誇るべき事実と言えます。クレーこうのす内には、生出家遺跡など市内で出土した古墳時代の埴輪や旧石器時代の打製石器が展示されています。



●● 史跡⑤ クレーこうのす内「歴史民俗資料コーナー」
(所在地=中央29-1、交通=鴻巣駅東口から免許センター行きバス約10分「免許センター」バス停下車)

- ※1 国造=古代日本における地方官
- ※2 誅伐=罪ある者を攻め討つこと
- ※3 朝恩=朝廷の恩
- ※4 屯倉=朝廷の直轄領
- ※5 姓=古代日本での氏族の称号
- ※6 武蔵介=武蔵の国の次官
- ※7 鎮守府=軍政を司る役所
- ※8 征夷大將軍=幕府政権の長たる者の称号
- ※9 土壘=敵の侵入を防ぐための堤防上の壁
- ※10 空堀=敵の侵入を防ぐための水のない堀
- ※11 顕彰=功績や善行を広く知らせること

平成27年11月14日、「鴻巣市合併10周年記念 鴻巣御殿御参行列」を開催します。中山道が歩行者天国となり、鴻巣にゆかりのある歴史人が9名(徳川家康、笠原直使主、源経基、渡辺綱、伊奈忠次、牧野康成、石田三成、真田小松姫、真田信重)登場し、歴史絵巻に包まれます。



歴史人⑥ 源 経基

源経基は、平安時代に清和天皇の孫として生まれました。「源」の姓を賜って皇族を離れた清和源氏の祖になる人物で、※6武蔵介に就任しました。この時代、関東一円は「平将門の乱」など混乱の時代を迎えていました。経基は一年余りで京に戻り、立場は激しく上下しますが、最終的には※7鎮守府将軍に就任、子孫の頼朝は鎌倉幕府を開き、※8征夷大將軍となりました。



●● 史跡⑥ 伝源経基館跡
(所在地=大間、交通=鴻巣駅西口から徒歩約15分)

関東で一年余りを過ごした館跡と伝えられているのが、鴻巣高校の南側にある通称「城山」と呼ばれる埼玉県指定史跡「伝源経基館跡」です。高さ約7mの小山で、三方に※9土壘や※10空堀を確認することができます。



歴史人⑦ 渡辺 綱

平安時代、嵯峨天皇の皇子である源融の孫、源仕が鴻巣市箕田に移り住みました。平安時代の武士の系統である箕田源氏の祖です。そして源仕の孫が源綱です。綱は953年に箕田で生まれたと伝えられています。後に摂津国渡辺津(現在の大阪市)に移り、「渡辺綱」と名乗りました。日本で初めての「渡辺姓」の誕生です。歌舞伎や浪曲・講談の演目にもなっている綱の多くの武勇伝のうち、鬼退治の話は特に有名で、全国の渡辺さんの家には鬼が近寄らないとされ、豆まきを行わない家も多いそうです。箕田地区には、通称「綱八幡」と呼ばれる氷川八幡神社、隣地には綱が創建したと伝えられている宝持寺があります。八幡神社の境内には箕田源氏を※11顕彰するため江戸時代に造られた「箕田碑」、宝持寺の境内には「全国渡辺会」が建立した顕彰碑があります。



●● 史跡⑦ 氷川八幡神社・宝持寺(写真=箕田碑)
(所在地=箕田2041・2034、交通=北鴻巣駅西口からコミュニティバス「フラワー号」[箕田郵便局]バス停下車)

次回最終回… 真田小松姫、真田信重を紹介

文責：鴻巣御殿御参行列実行委員会 (事務局 = 観光戦略課内・9月11日(金)～18日(金) = 内線2401、9月24日(木)以降 = ☎501-6860)

